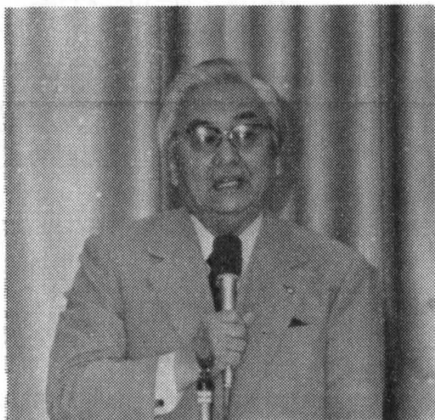


大阪歯科大学 兵庫県同窓会報

昭和55年4月10日
No. 34

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会
神戸市生田区山本通5丁目41
電話(078)351-4181
編集発行人 前田光俊



責任と慎重な行動を

大阪歯科大学兵庫県同窓会

会長 鹿嶋 弘

昨年から私が阿部先生の後を次いで同窓会のお世話をすることになりましたが、今日兵庫県の大歯同窓である私達が非常に和やかにやってゆけるまでには苦勞の歴史がありました。

このようなことを考え、大歯が全国で1万人の会員を有し、兵庫県でも2千数百人の会員の中で6割以上の1,300人以上の同窓がおられ、大阪にしても兵庫県にしても会の中心は大歯の卒業生ということになります。会員が多いということになるとそれなりの責任を感じて行動しなければなりません。

今年はサル年であり、ことわざのなかにサルの尻笑いという話がある。サルが仲間の尻を見て赤いといって笑うがそのサル自身の尻も赤い。自分の姿というものは案外分らない。このような形のものが同窓会の中であってはいけないと思います。

数を頼みにするとエゴが出て来る。全国的に地位の向上した今日、行動自体に慎重でなければなりません。

私も先輩に助けられて今回日歯に残ることになりましたが、これも私の力ではない訳で、大歯の歴史の中で育った種々な物が私を

育くみ、先輩、後輩の力でこうなったので、私も責任を感じながら本当にうれしく思っている。

新年度になったわけだが、なんとしても成功させねばならないのは会員大会である。同窓会とはなんだろうということがよく言われるが、同窓会というものの中では私は世代の6割以上が大学卒の人が占める 中では若い先生の意見を聞いた組織づくりを積極的にやっていかなければいけないと思う。そういうことを含めた会員大会を成功させねばならない。そういう意味で若い先生方のご意見も充分にお聞きしたいと思う。

また今年は特に私達は関口けいぞう先生を立てて参院選をやらねばならない。兵庫県はややもすると低調だといわれている。ここでなんとしても関口先生を国会に送るということの中で兵庫県はその大きな役割を果たさなければならない。その中核となるのは大阪歯科大学同窓会である。

今後とも、寛容と友愛の精神で、ご協力を賜わることをお願いいたします。

昭和54年度総会

55年度予算など可決

会員大会の準備進む

昭和54年度大歯大兵庫県同窓会総会は、4月5日（土）午後4時から兵歯会館5階講堂で開催され、昭和54年度決算ならびに昭和55年度予算などを承認可決した。

総会は宮井専務病気療養中のため中塚専務代行が司会、塩見副会長の開会のことばではじまり、議長に村井副会長（司会者一任）を選出したあと、議事録署名人に内海利正（生田）、原口勝弘（姫路）の両氏が議長より指名された。

ついで鹿嶋会長から「6割以上を占める若い世代の同窓会員の意見を十二分に汲みとり組織づくりに取り組みたい……」とこんごの県同窓会の在り方を示唆すると共に「それらを踏まえた来る6月の会員大会を盛会裡に収めたい」との挨拶を述べた。

このあと、学位受領者（別掲）の表彰が行われ報告事項にうつった。

（報告事項）

- (イ) 会務報告 中塚専務代行
- (ロ) 会計報告 溝井常任理事
- (ハ) 本部報告 志築常任理事
- (ニ) 渉外報告 笠原常任理事
- (ホ) 監査報告 平崎 監事

なお、会員数報告のあと、22名の物故会員に対して敬虔な黙禱を捧げた。

また監査報告では、「54年度決算ならびに事業につき厳正な監査をしたが適正と認める。こんご会費未納者の処理について、執行部は鋭意検討して欲しい」と

の報告がなされた。

つづいて議事に入り、慎重審議の結果、全議案を原案どおり万場一致で承認ならびに可決決定した。

（議案）

第1号議案 昭和54年度歳入歳出の決算の承認を求める件

第2号議案 昭和55年度歳入歳出予算に関する件

第3号議案 会費賦課額、徴収方法に関する件

なお会費については、県同窓会費が8,400円から12,000円に値上げされたため、同窓会本部会費9,000円に併せて県同窓会費12,000円が本年度の同窓会費になる。また、徴収方法については、兵歯本会会費などと重ならない月を見計らい3回（6,000円、9,000円、6,000円）に分割徴収されることが決められた。

協議では、第27回会員大会について当番の神戸分会（木村大会総務）より、大会内容について詳細な説明がなされ、来る6月14日（土）新世紀（三ノ宮）で行われることに決定。なお本年度はムードを一新し、盛大に開催したいとの意向が了承された。

最後に、津島副会長の閉会のことばで終了した。

（学位受領者）

奥田 順也	専26回	北 但
北 英一	大9回	姫路市
奥田 健	大17回	兵庫区
村上 英夫	大19回	川西市
		以上大阪歯科大学

目 次

会長挨拶	1
昭和54年度総会	2
昭和54年度常任理事会（S.55.2.5）	3
昭和54年度常任理事会（S.55.3.18）	4
昭和54年度常任理事会（S.55.4.5）	4
昭和54年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出決算書	5
昭和55年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出予算書	6

鹿嶋会長を日歯副会長に推薦

昭和54年度常任理事会

S. 55. 2. 5

昭和54年度常任理事会は2月5日(火)午後7時より兵庫会館2階会議室で宮井専務理事病気療養中のため中塚専務代行の司会により、津島副会長の開会のことばの後、座長に松本副会長を選出、議事録署名人に松田隆雄(尼崎)、飯田浩司(生田)両常任理事を指名して来賓として出席されていた奥野大阪歯科大学同窓会長の挨拶にうつった。

奥野会長挨拶要旨

今日は2つの重要な事項があるので出席した。1つは厚生省、大蔵省関係の問題、1つは日歯副会長問題である。

同窓会というものは友愛の誓いをやらなければいけない。同時に会員に対する忠誠心という1つのロイヤルティをもってもらおう。そして団体の拡充を計るのが同窓会の最高の努めである。

さて鹿嶋同窓会長を日歯副会長に推薦したいきさつであるが、この意向は東京から伝ってきた。1月23日の近畿2府7県の役員会議の最中に臨時に会長会議が別室で開かれ、その席上推薦の話が出され全会一致で推薦された。しかし、大歯同窓会本部の渉外部会の議を得なければ決定出来ないが、26日の大歯渉外部会で全員一致で推薦された。本人の受諾は得ていないが、組織の決定であるので受けなければいけないといっている。

現在、日歯の副会長には矢吹、新坂、武石の3氏が立っており、4名となる。選挙をやらないという方法も考えているが、選挙の準備が必要である。大歯25票では無理で、34~35票なければ当選しない。私も作戦を立てているが、全会員挙げて当選を期してほしい。

つづいて鹿嶋同窓会長が挨拶に立ち、「宮井専務病気入院中のため中塚常任理事に専務代行をやってもらう。私も日歯副会長にとの話があるが、奥野会長の親心に私は果報者だと感謝しているが、私自身にもまだ迷いがある。家族の者の理解も得なければならぬし、保険問題で多忙だったということもあって選挙運動にも入っていない。4~5日ゆっくり考えて決心したい。」と述べた。

ここで質疑に入ったが岡田常任理事より鹿嶋会長はまだ考慮中とのことだが、またとない機会であるので

決心していただきたい。われわれとしても物心両面から応援したい。四柳常務理事より緊急動議として取り上げてもらいたいとの発言があり異議なしの声で議題に加えられた。これに関連して鹿嶋会長より「皆さまのご厚意は感謝している。物心両面ということだが、物の面は私自身の問題であるのでご心配にならないように精神的な友愛の精神でのバックアップをお願いしたい。」との発言があった。

つづいて報告に入り、イ) 会務報告、ロ) 会計現況報告、ハ) 本部報告、ニ) 会員大会の現況報告の後、協議事項にうつった。

協議事項

イ) 会員大会について。木村常任理事より

今年は神戸分会の当番で6月14日1時より三宮新世紀で挙行する。4~5百名収容出来る。祝典1時間、祝宴2時間を予定している。会費として会員12,000円、家族10,000円の線をお願いしたい。大会の回数を昔からの通算で数えるかどうか決定してほしいとの説明があり了承され会員大会については岡田分会長に一任された。

ロ) 鹿嶋会長を日歯副会長に推薦する件

全員一致異議なしの声で推薦を決議した。

ハ) 昭和55年度予算案について。

溝井常任理事より、対外的な行事も増すこともあり支出も増加するので現行700円(月額)の会費を1,000円に増額していただきたいとの提案があった。前野常任理事より推薦した以上それに見合う予算措置は当然である。そのための値上げではないが予算が不足なれば値上げもやむを得ぬとの発言があったが、鹿嶋会長は選挙は3月にある。予算は来年度の同窓会発展のためのもので時機が違うものであるので混同しないでいただきたいと強調された。会費値上げは異議なしで決定し、次回の常任理事会で会費徴収方法、予算案を提出するということでも了承された。

ニ) その他。

3月18日4時より常任理事会、4月5日4時より総会の日程が決定した。

以上の後、塩見副会長の閉会のことばで終了した。

会費増額などを可決

昭和54年度常任理事会

S. 55. 3. 18

昭和54年度大歯兵庫同窓会常任理事会は3月18日(火)午後4時より、兵庫会館2階会議室で開催され、55年度予算を満場一致で可決すると共に会員大会につき協議した。

常任理事会は中塚専務代行の司会により、村井副会長が鹿嶋会長の日歯副会長確定に対するお祝いの開会の辞のあと座長に塩見副会長を選出、議事録署名人に小坂 修(灘区)、河合範夫(須磨区)両常任理事を指名して鹿嶋会長の挨拶にうつった。

鹿嶋会長挨拶要旨

今日の理事会で来年度の予算、会員大会について皆様方の最終的な意見を聞いて会務執行をやっていきたいと思う。

日歯の役員選挙、特に私が出た副会長選挙についてであるが、奥野名誉会長が私のために全国を回っていただいた。私自身が会長の体を案じたぐらい雪の降る北陸路へ、また対抗馬の無いという事が分った時点でも松山まで出向かれたくらいきめの細い応援をして下さった。

これも同窓会あげての支援体制のルールが引かれたことによるものである。この皆様の暖かい気持を私は

骨の髄まで感じている。奥野名誉会長に感謝すると共に皆様にご迷惑をかけたことをお詫びする。

つづいて報告にうつり中塚専務代行の会務報告、溝井常任理事より会計現況報告、志築常任理事より本報告、岡田神戸分会長より会員大会の現況報告があり了承された。

つぎに協議事項にうつり

(イ) 昭和55年度予算案についてが上提され、溝井常任理事より歳入、歳出共、15,561,000円で会費は増額して月額1,000円になるとの提案説明があり全員異議なく可決された。

(ロ) 会員大会については木村常任理事より会員大会の企画の詳細が説明された。新世紀の使用は1時～4時で、12時より受付開始で、1時10分前に全員着席、1時より式典でいずれも時間厳守でやりたい。

企画については3月中に決めるが、大歯よりスライドを借りて来て映写するなどのことを考へているなど発表された。

(ハ) 総会日程については4月5日(土)午後3時、役員会、4時総会の原案どおり可決され、渡部副会長の来る会員大会に総力を結集してやっていただきたいとの閉会の辞で終了した。

会員大会を討議

昭和54年度常任理事会

S 55. 4. 5

来る6月の会員大会を控え、その準備、打合わせやまた年度末の予決算案を協議する大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会が昭和55年4月5日(土)午後3時から兵庫会館5階講堂で開催された。

定刻、会中は塚専務代行の司会で始まり、津島副会長が出席の労をねぎらう開会のことばを述べ、座長に塩見副会長を選出、議事録署名人に志築昭和(尼崎)嘉ノ海昭吾(姫路)両常任理事を指名して、鹿嶋会長がこのあと開かれる総会で、ごあいさつを述べるので今は簡単にしたいとあいさつ、報告事項に入った。

報告事項では会務報告を総会の時にまとめて詳細にご報告したいのでご了承を願いたいとの中塚専務代行の提案を了承し、協議事項に移った。

協議事項

(イ) 総会日程について

第1号議案 昭和54年度歳入歳出決算の承認を

求める件

第2号議案 昭和55年度歳入歳出予算に関する件

第3号議案 会費賦課額、徴収方法に関する件
以上3議案について溝井常任理事より提案理由の説明があり、いずれも承認可決された。

(ロ) 会員大会について(岡田神戸分会長)

一般的な問題は、常任理事会でご決定、了解を得たとおりで、演芸の方もほぼ決まりかけている。民謡の藤本フミヨ、そして三枝かチャンバラトリオのどちらかが来てくれる。

また漫才の若手のホープも来てもらい、漫才をしながら司会もやってもらう。アマチュアだが神戸ダイコの参加も予定している。

ただ一番気になることは、開始時間と閉会時間で、とくに時間厳守をお願いしたい。新しい企画の会員大会ですので、ぜひとも盛大にやりたいので、多数の会員、家族のご出席を願いたい。最後に村井副会長が閉会のことばを述べて、午後5時日程を終った。

昭和54年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出決算書

歳入金 13,361,550円
 歳出金 13,287,538円
 差引剰余金 74,012円

収入の部

科 目	決算額	予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	10,132,500	9,996,000	136,500		
第1項 会 費	10,132,500	9,996,000	136,500		
第二款 雑 収 入	1,256,820	1,122,000	134,820		
第1項 雑 入	45,520	50,000		4,480	
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本部手数料	1,211,300	1,071,000	140,300		
第三款 繰 越 金	1,972,230	1,972,000	230		
第1項 繰 越 金	1,972,230	1,927,200	230		
合 計	13,361,550	13,090,000	271,550		

支出の部

科 目	決算額	予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	4,433,375	4,400,000	33,375		
第1項 事 務 費	1,911,000	1,900,000	11,000		
第2項 旅 費	924,690	700,000	224,690		
第3項 通信印刷費	1,304,605	1,500,000		195,395	
第4項 消耗品費	147,620	150,000		2,380	
第5項 雑 費	145,460	150,000		4,540	
第二款 会 議 費	2,053,585	1,500,000	553,585		
第1項 会 議 費	2,053,585	1,500,000	553,585		
第三款 事 業 費	6,800,578	6,690,000	110,578		
第1項 学 術 費	575,050	640,000		64,950	
第2項 広報宣伝費	157,200	150,000	7,200		
第3項 福祉厚生部	1,948,913	2,300,000		351,087	
第4項 表彰慶弔費	782,300	1,000,000		217,700	
第5項 諸見舞金	880,000	800,000	80,000		傷病見舞金 44名
第6項 渉 外 費	2,457,115	1,800,000	657,115		
第四款 予 備 費	0	500,000		500,000	
第1項 予 備 費	0	500,000		500,000	
合 計	13,287,538	13,090,000	197,538		

昭和55年度大阪歯科大学兵庫県同窓会歳入歳出予算書

歳入金 15,561,000円
歳出金 15,561,000円

収入の部

科 目	本年度予算	前年度予算	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	14,400,000	9,996,000	4,404,000		月1000円×12ヵ月 ×1,200名
第1項 会 費	14,400,000	9,006,000	4,404,000		
第二款 雑 収 入	1,131,000	1,122,000	9,000		
第1項 雑 入	50,000	50,000			預金利子
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本部手数料	1,080,000	1,071,000	9,000		9,000×1,200名 ×10%
第三款 繰 越 金	30,000	1,972,000		1,942,000	
第1項 繰 越 金	30,000	1,972,000		1,942,000	
合 計	15,561,000	13,090,000	2,471,000		

支出の部

科 目	本年度予算	前年度予算	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	4,200,000	4,400,000		200,000	
第1項 事 務 費	2,100,000	1,900,000	200,000		
第2項 旅 費	800,000	700,000	100,000		
第3項 通信印刷費	900,000	1,500,000		600,000	
第4項 消耗品費	200,000	150,000	50,000		事務用品
第5項 雑 費	200,000	150,000	50,000		
第二款 会 議 費	2,000,000	1,500,000	500,000		
第1項 会 議 費	2,000,000	1,500,000	500,000		
第三款 事 業 費	8,840,000	6,690,000	2,150,000		
第1項 学 術 費	640,000	640,000			
第2項 広報宣伝費	200,000	150,000	50,000		会報発行
第3項 福祉厚生費	2,500,000	2,300,000	200,000		会員大会
第4項 表彰慶弔費	1,000,000	1,000,000			
第5項 諸見舞費	1,000,000	800,000	200,000		
第6項 渉 外 費	3,500,000	1,800,000	1,700,000		
第四款 予 備 費	521,000	500,000	21,000		
第1項 予 備 費	521,000	500,000	21,000		
合 計	15,561,000	13,090,000	2,471,000		

自然増は予備費へ繰入れ